

民主島根

2018年
3.4
第1306号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

安倍改憲NO！3000万署名目標達成へ 署名推進へ各地で集会ひらく

松江 弁護士、島根大名譽教授ら呼びかけ

松江市で2月12日、「安倍9条改憲NO！松江市民アクション（仮称）」の結成集会が開かれました。3000万署名の全国の取り組みに連帯し、毎月9日、19日に行動すること、市内で8万人分を目標に集めることを確認しました。

呼びかけたのは、県弁護士会元会長の安藤有理氏と岡崎由美子弁護士、島根大学名誉教授の三宅孝之、鬼頭宏一の両氏。呼びかけ人を代表して三宅氏があいさつし、「憲法を守る義務を放棄して、自ら変えようとする安倍首相の行動は、憲法を無意味なものにし、戦前へと回帰させるものだ。私たちは『誰も死なせない』この点で一致できる多くの方々と協力した



呼びかけ人・鬼頭氏の講演に耳を傾ける参加者（松江市）

安来

運動大きくして取り組もう 9条の会が署名スタート集会

安来市の「9条の会安来」は2月25日、3000万署名スタート集会を開きました。5月3日までに市内で8000人分を集めることを確認しました。



い」と話しました。鬼頭氏が講演し、「憲法は首相のような権力者を縛るためのもので、権力が改憲を国民に押し付けるのはおかしい」と批判。

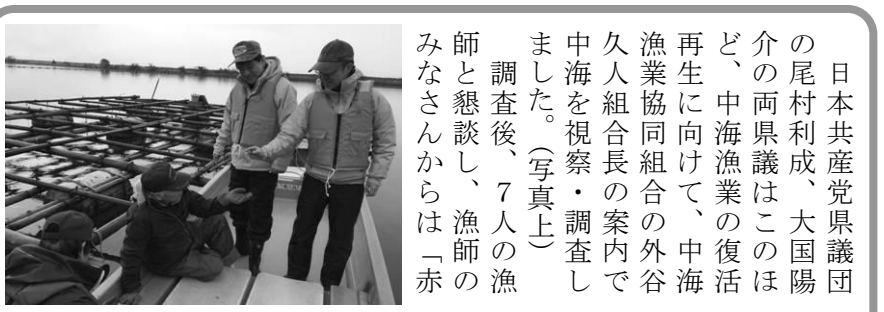


津和野 議長が3千万署名にサイン 寺戸町議長らが賛同求める

同会の古志野與四郎代表世話人があいさつし、「安倍改憲を許さない全国のみなさんと連帯し、運動を大きくするため、安来でも本気の取り組みを進めよう」と呼びかけました。（写真）

人が発言。夫婦で参加した山根英雄さん（76）は「戦争をしない、人を殺させない」という点で一致できる人に広く呼びかけたい」と話しました。

日本共産党の寺戸昌子津和野町議長は1月29日、党日原支部の青木保さんと町議会議長室を訪ね、沖田守議長に「安倍改憲ノ一3000万署名」を求めました。（写真）



中海漁業の復活再生へ 一党県議団が調査

日本共産党県議団の尾村利成、大國陽介の両県議はこのほど、中海漁業の復活再生に向けて、中海漁業協同組合の外谷久人組合長の案内で中海を視察・調査しました。（写真上）

調査後、7人の漁師と懇談し、漁師のみなさんからは「赤貝（サルボウガイ）の生産拡大など中海漁業の復活再生への支援を強めてほしい」「湖底環境の改善や養殖技術の開発をさらにすすめてほしい」「若い人が漁業で生計が立てられるようになれば嬉しい」などの要望が出されました。（写真下）

原発・エネルギー問題を考えるシンポジウム
とき 3月11日(日) 14:00~16:00
ところ 鹿島文化ホール（松江市）
講演 「原発に頼らないエネルギー地域をめざして」
島根大学法文学部教授 上園昌武さん
※参加費無料、事前申込不要
主催：島根原発・エネルギー問題県民連絡会（連絡先：0852-22-7316）

鼓動

先頃、出雲国風土記散策の出版に伴い「赤旗」にエッセイを連載し、肩書きに（ジャーナリスト）としたら、身内から失笑を買った。小紙の編集を十数年続けてきたぐらいいは、おこがましいというところらしい。ペンで社会悪に對峙するに至ってないということか。▼ただ、こんどばかりは許せない。国税庁の佐川長官である。国民からは取らなくていい税金を搾取しながら、教育勸語礼賛の学校建設には、首相夫人に付度してただ同然で国有地を払い下げ、国会で追及されると「文書は破棄した」と隠匿。ここに来て、偽証の疑いも：▼今回、妻の確定申告を手伝った。年金支払いや生命保険控除のハガキを見ながら、国税庁のホームペーのやたらと難しい説明文と、老齢で霞む眼で格闘すること2時間。なんとか還付請求申告書が出来た。妻に渡すと「昨年全額還付されたのに：他にも、配偶者控除もできるのでは」との一言で、翌日、申告のペテランに相談▼なんと全額還付されることに。ペテラン曰く「よく気づきましたね。還付実務が複雑であきらめていた人も多いのよ」。つまり、一方的に天引きされた税金は還付請求しない限り戻らない、取られ損の税金らしい。その一方で、何億円（森友）何十億円（加計）という国費がウヤムヤに▼戦前に、軍部の弾圧の中、命がけで反戦を貫いた桐生悠々というジャーナリストがいた。しかし、今日、「佐川長官と確定申告」をめぐって、どれほどのジャーナリストが、体制側とたたかっているのか。ジャーナリストならずとも一矢を報いたい思いだ。（吉）